

[First Hit](#) [Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)☐ [Generate Collection](#) [Print](#)

L98: Entry 15 of 29

File: JPAB

Oct 11, 1996

PUB-NO: JP408265450A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08265450 A
TITLE: VIDEO TELEPHONE SYSTEM

PUBN-DATE: October 11, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KUNUGI, HARUTOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KYOCERA CORP

APPL-NO: JP07067850

APPL-DATE: March 27, 1995

INT-CL (IPC): H04M 11/00; H04N 7/14

ABSTRACT:

PURPOSE: To make it possible to automatically set up whether the picture data of a user himself (or herself) are to be transmitted or not by registering whether a line can transmit a picture or not every incoming number and identifying an incoming number from an opposite party terminal.

CONSTITUTION: This video telephone system is constituted of a RAM 13 for registering the presence/absence of an incoming number for picture transmission every line, an incoming number identifying means 3 for identifying an incoming number from the opposite party terminal and a picture sending switch 8 for automatically turning on a switch for sending a picture when the means 3 identifies that the incoming number is one for a picture sending line. A line capable of sending a picture is previously registered for each incoming number, so that whether a terminal can transmit picture data or not can be judged by identifying an incoming number from the opposite party terminal at the time of receiving a telephone call from the opposite party. The terminal can not transmit picture data to the opposite party terminal when the switch 8 is held at its OFF state on condition that the terminal can not transmit the picture data to the opposite party terminal.

COPYRIGHT: (C)1996, JPO

[Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-265450

(43) 公開日 平成8年(1996)10月11日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M 11/00	3 0 2		H 0 4 M 11/00	3 0 2
H 0 4 N 7/14			H 0 4 N 7/14	

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平7-67850

(22) 出願日 平成7年(1995)3月27日

(71) 出願人 000008633

京セラ株式会社

京都府京都市山科区東野北井ノ上町5番地
の22

(72) 発明者 ▲功▼刀 春俊

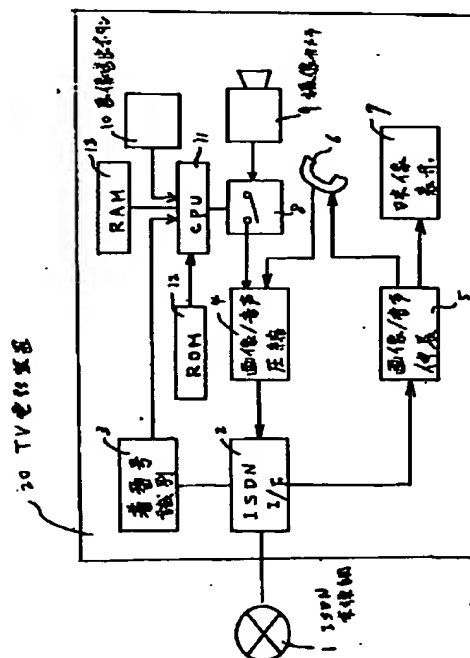
神奈川県横浜市都筑区加賀原2丁目1番1
号 京セラ株式会社横浜事業所内

(54) 【発明の名称】 TV電話装置

(57) 【要約】

【目的】 特定の電話番号を識別し、その番号によって画像データを送信するかどうかを自動的に切り換えることができる。

【構成】 着信番号毎に画像が送出できる回線であるかどうかを登録されているためにその着信番号を識別することによって、自端末の画像データを相手に送信するかどうかを自動的に判別できるためにプライバシーが保護される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】ISDN回線網を経由して端末—端末間で音声及び画像データを伝送するためのTV電話装置において、着信番号の回線毎に画像送出用の有無を登録するための登録手段と、相手端末からの着信番号を識別するための識別手段と、前記識別手段によって前記着信番号が画像送出用回線のときには画像を送出するためのスイッチが自動的にオンに切り替わる画像送出スイッチとから構成されていることを特徴とするTV電話装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、特定の電話番号を認識し、その番号による着信に対しては無操作で画像および音声の通信を可能とし、それ以外の電話番号による着信は音声のみの通信となるTV電話装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来のTV電話装置においては、画像および音声通信として着信した場合は無条件で着信側の映像が送信され、着信側のプライバシーが守られなかった。着信側のプライバシーを守るためには、画像通信ス

イッチを設け、このスイッチを押下しないときには着信側の画像が送信されない工夫が行われていた。

【0003】また、特開平2-113761号で開示されているように着信側のプライバシーを守るためには、相手先電話番号と登録した電話番号とを照合し、その電話番号が一致したときのみ画像および音声を送信可能と

【0004】

【発明が解決しようとする課題】このように従来のTV電話装置におけるプライバシー保護機能は、無条件で画像を送信してもよい相手であっても、わざわざ画像通信スイッチを押下しなければならず操作が煩わしかった。また、相手先電話番号と登録電話番号とを照合する方式にあっては、故意に電話番号を送らずに電話をかけたときには画像通信が先に転送されてしまうということがあり、プライバシーが守れなかった。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明はこれらの課題を解決するためのものであり、ISDN回線網を経由して端末—端末間で音声及び画像データを伝送するためのTV電話装置において、着信番号の回線毎に画像送出用の有無を登録するための登録手段と、相手端末からの着信番号を識別するための識別手段と、前記識別手段によって前記着信番号が画像送出用回線のときには画像を送出するためのスイッチが自動的にオンに切り替わる画像送出スイッチとから構成されたTV電話装置を提供する。

【0006】

【作用】予め着信番号毎に画像が送出できる回線であるかどうかを登録しておけば、相手端末からの着信番号を識別することによって相手先からの電話を受信したとき

に画像データを送信する端末であるかどうかを判定することができる。そして、相手に画像データを送信しない端末のときには画像送出スイッチをオフのままに設定すれば画像データは相手端末に送信することができない。しかし、着信番号に画像が送出できる回線に設定されていれば画像送出スイッチが自動的にオンに切り替わるために画像データを送信することができる。

【0007】

【実施例】以下、本発明の実施例について図面を用いて説明する。図1は本発明の一実施例であるTV電話装置のブロック図であり、図2は本発明の一実施例であるTV電話装置の動作説明を行ったフローチャートである。図1において、1は高速データ通信を行うためのISDN交換網、2はISDN交換網に接続するためのISDN I/F、3は着信番号を識別するための着番号識別、4は画像および音声データを圧縮するための処理を行う画像/音声圧縮、5は画像/音声圧縮で圧縮されたデータを伸長するための画像/音声伸長、6はハンドセット、7は映像を表示するための映像表示、8は画像送出スイッチ、9は撮像カメラ、10は画像送出ボタン、11はデータ制御を行うためのCPU、12はプログラムが格納されているROM、13はデータが一時的に格納されているRAMとから構成されている。図1および図2にもとづいて動作説明を行う。予め、相手端末毎の回線に対応して自端末側の画像を送信してもよいかどうかのステータスを図1で示されるRAM13に登録する。このように登録された状態において、ISDN交換網を経由して図示しない相手端末からの電話を受信すると、その回線のサブアドレスに格納されている着信番号を読み出す(ステップ10)。そして、その着信番号に該当する回線が画像データを送信してもよい回線であるかどうかの判定を行い(ステップ20)、画像データを送信してもよい回線のときにはCPU11からの指示によって画像送出スイッチ8をオンに設定する(ステップ30)。このときには、図1で示される撮像カメラ9で撮影された画像データが画像/音声圧縮4によって圧縮されてからISDN I/F2を通じてISDN交換網1を経由してから相手端末に音声および画像データを転送する(ステップ40)。しかし、その着信番号に該当する回線が画像データを送信しない回線のときには画像送出スイッチ8がオフになっているために撮像カメラ9で撮影された画像データは相手端末に転送することができない。したがって、音声データのみが転送されるだけである。また、その着信番号に該当する回線が画像データを送信しない回線のときであっても画像送出ボタン10を入力することによって強制的に画像送出スイッチ8をオンにすることによって画像データを送信することができる。相手端末から画像データおよび音声データを受信したときには画像/音声伸長5によって圧縮されたデータが伸長され、映像表示7に音声データを出力しながら表

示される。

【0008】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、着信番号毎に画像が送出できる回線であるかどうかを登録されているために相手端末からの着信番号を識別することによって相手先からの電話を受信したときに画像データを送信する端末であるかどうかを判定することができる。もし、その回線が相手に画像データを送信しない端末のときには画像送出スイッチをオフのままに設定されているために画像データは相手端末に送信することができない。しかし、着信番号に画像が送出できる回線に設定されていれば画像送出スイッチが自動的にオンに切り替わるために画像データを送信することができる。このように相手端末の相手によって自分の画像データを送信するかどうかを自動的に設定できるので、簡単な回路を追加することによってプライバシーを保護することができる。

【図面の簡単な説明】

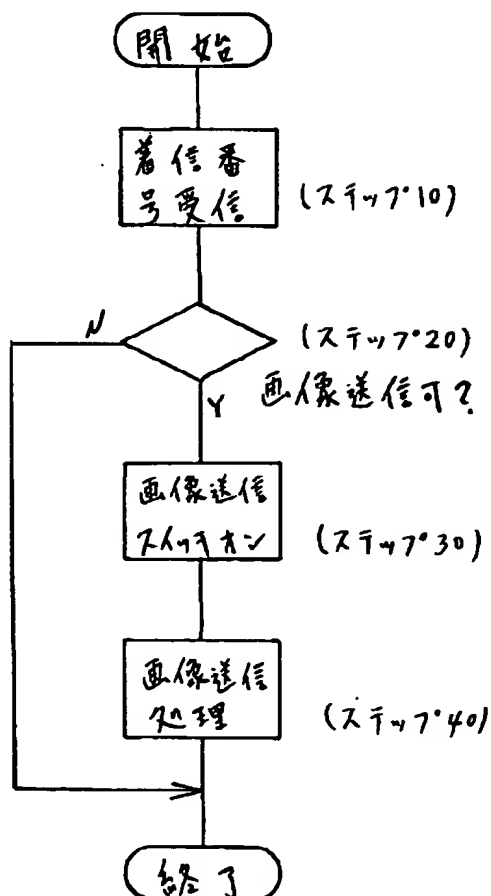
【図1】 本発明の一実施例であるTV電話装置のブロック図である。

【図2】 本発明の一実施例であるTV電話装置の動作説明を行ったフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 ISDN交換網
- 2 ISDN I/F
- 3 着番号識別
- 4 画像／音声圧縮
- 5 画像／音声伸長
- 10 ハンドセット
- 7 映像表示
- 8 画像送出スイッチ
- 9 撮像カメラ
- 10 画像送出ボタン
- 11 CPU
- 12 ROM
- 13 RAM

【図2】



【図1】

